

# 南北朝の動乱と南九州の武士たち

中世は、鎌倉時代のモンゴル襲来という国難から、幕府滅亡とその後の南北朝の動乱へと、次々と争乱が勃発する激動の時代でした。本展覧会では、これら相次ぐ争乱に直面した南九州の武士たちが、生き残りをかけて戦い抜く姿を、現代に遺された古文書を手がかりに、関連する考古資料や絵画資料等を交えて紹介します。

令和5年  
 会場：黎明館2階 第2特別展示室  
 開館時間：9:00～18:00(入館は17:30まで) **9/29(金) - 11/5(日)**  
 休館日：10/2、10/10、10/16、10/23、10/25、10/30  
 観覧料：一般 800円(600円) 大学生 500円(350円) 高校生以下無料  
 ※( )は団体【20名以上】、前売券料金 ※ 障害者手帳の提示で観覧料免除(介護者1名免除)  
 主催：令和5年度黎明館企画特別展実行委員会 (鹿児島県歴史・美術センター黎明館、南日本新聞社、MBC南日本放送)  
 後援：鹿児島県教育委員会、鹿児島市教育委員会、NHK鹿児島放送局、KTS鹿児島テレビ、KKB鹿児島放送、μFMエフエム鹿児島、鹿児島シティエフエム  
 特別協力：東京大学史料編纂所

講演会・講座 ※ いずれも事前申込制です。詳細は黎明館ホームページ等でご確認ください。

- |  |  |
|--|--|
| <p><b>記念講演会①</b><br/>         日時：10月8日(日)13:30～15:00<br/>         会場：黎明館2階 講堂<br/>         演題：「九州南部の南北朝内乱」<br/>         講師：南九州大学非常勤講師 新名 一仁 氏</p>      | <p><b>記念講演会②</b><br/>         日時：10月22日(日)13:30～15:00<br/>         会場：黎明館2階 講堂<br/>         演題：「南九州の南北朝内乱と九州探題今川了俊」<br/>         講師：東京大学史料編纂所准教授 堀川 康史 氏</p> |
| <p><b>記念講演会③</b><br/>         日時：10月29日(日)13:30～15:00<br/>         会場：黎明館2階 講堂<br/>         演題：「南北朝期の合戦の実態と情報操作」<br/>         講師：元栃木県公立学校長 松本 一夫 氏</p> | <p><b>展示解説講座(学芸講座)</b><br/>         日時：11月4日(土)13:30～15:00<br/>         会場：黎明館2階 講堂<br/>         演題：「南北朝の動乱と南九州の武士たち」<br/>         講師：黎明館学芸専門員 吉村 晃一</p>     |

約150点の資料を展示予定



注目ポイント

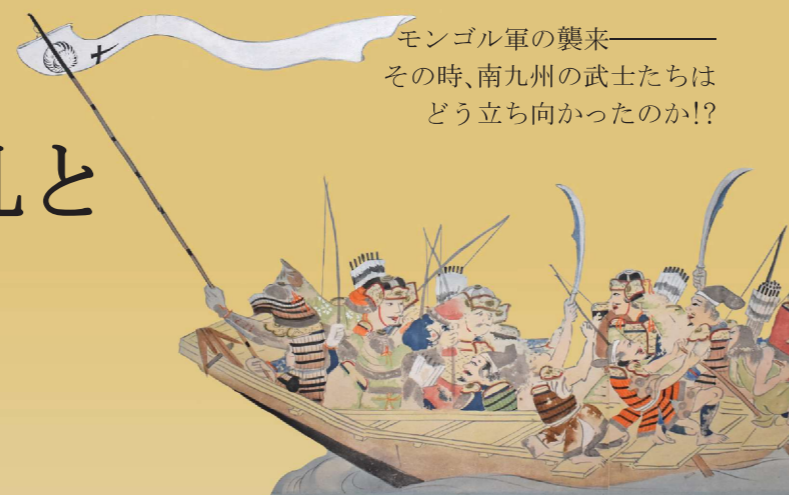
「笹貫」が期間限定で里帰り

展示期間：10月3日(火)～9日(月)・祝

重要文化財

太刀 銘：波平行安 号 笹貫(京都国立博物館蔵)

## Prologue モンゴル襲来と南九州の武士たち



蒙古襲来絵詞模本(大矢野家本) (部分) (個人蔵、熊本県立美術館保管)

モンゴル軍の襲来——  
その時、南九州の武士たちは  
どう立ち向かったのか!?

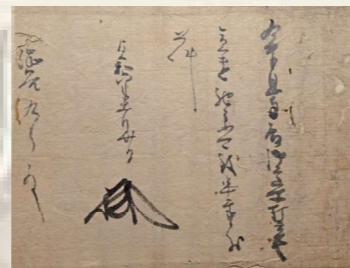
## 第2章 南北朝の動乱の幕開け

北朝と南朝が並び立つ  
南北朝時代が幕を開ける——！  
相次ぐ争乱の中  
武将たちは生き残りをかけて戦いに挑む！

## 第3章 征西将軍宮・懐良親王と 足利直冬の九州下向

南朝・後醍醐天皇に派遣された懐良親王  
観応の擾乱の影響で逃れてきた足利直冬  
九州の地を舞台に  
宮方(懐良親王)、将軍方(尊氏)、佐殿方(直冬)  
三つ巴の戦いが繰り広げられる！

縦15.7cm×横20.3cm!  
小型の切紙にしたためられた文書



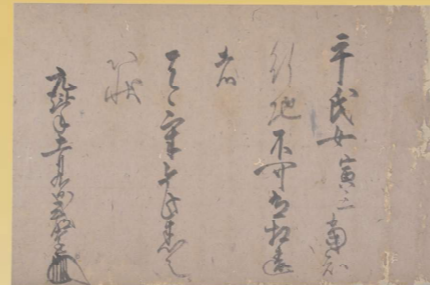
足利直冬軍勢催促状 貞和6(1350)年11月30日付  
岡元文書(黎明館蔵)

## Epilogue 室町幕府と南九州の武士たち

南北朝合一後も、南九州では  
家督継承を巡る島津氏一族間の争いに  
有力国人たちが参戦  
大規模な闘争が続いた——

## 第1章 後醍醐天皇による建武政権樹立

鎌倉幕府に反旗を翻した足利高氏(尊氏)  
これに続いた有力御家人たち  
遂に150年続いた幕府は滅亡し  
後醍醐天皇による建武の新政が始まる！



後醍醐天皇論旨 元弘3(1333)年11月9日付  
岡元文書(黎明館蔵)



尊氏の彫像として  
現存最古と言われる木像です

重要文化財  
木造足利尊氏坐像(安国寺蔵)

注目ポイント

後醍醐天皇と足利尊氏が  
そろって鹿児島にやって来る！



後醍醐天皇像 模本(部分)(清浄光寺(遊行寺)蔵)

注目ポイント

六曲一双の堂々たる屏風！様々なエピソードが描き込まれた大迫力の絵画資料



湊川合戦図屏風[右隻](個人蔵、和歌山県立博物館保管)

## 第4章 九州探題・今川了俊の九州下向

南朝勢力が優勢となった九州に下向した九州探題・今川了俊  
南朝勢力の拠点・大宰府を攻略するも  
やがて島津氏と激しく対立する

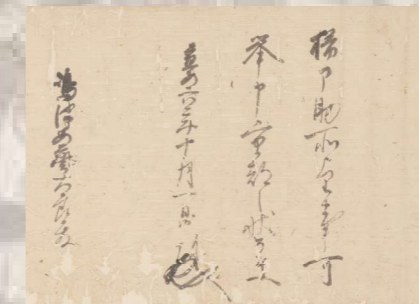
注目ポイント

国宝「島津家文書」をはじめとする貴重な古文書を一挙に公開！

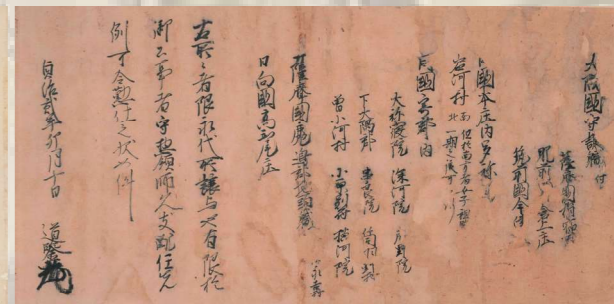
足利尊氏、楠木正成、新田義貞  
有名武将が勢揃いした湊川合戦を描いた屏風！  
右隻・左隻そろって展示します



足利義教像(部分)(東京大学史料編纂所蔵) 展示期間：9/29～10/9、10/18～11/5



今川了俊官途吹挙状  
応安6(1373)年10月1日付  
樺山家文書(東京大学史料編纂所蔵)



国宝  
島津道鑑(貞久)談状 貞治2(1363)年4月10日付  
島津家文書(東京大学史料編纂所蔵)